

## 伊藤 大輔 3空佐

防衛研究所 戦史研究センター

安全保障政策史研究室所員

1976（昭和51）年生まれ。北海道出身。宇都宮大学大学院修了（経済学修士）、埼玉大学大学院修了（経営学修士）。開発集団、南混団、8空団、空幕防衛部、空幹校、中空などを経て2024年6月から現職。専門は軍事ドクトリン、旧海軍航空、習近平強軍思想。共著に『アミオ訳孫子』（ちくま学芸文庫、16年）、『米軍式人を動かすマネジメント』（日本経済新聞出版、16年）、『黄色い零戦』（飛鳥新社、21年）、『マレ一進攻航空作戦』（芙蓉書房、23年）などがある。

## 時代を読み解く

シリーズ (47)

自らに有利となる

認知態勢を形成へ

『孫子』の兵法に「人を致して、人に致されず」という有名な言葉がある。

後に同書に注釈を付けた

十一家の一人、北宋の張預

は、利害によって敵をこち

らの思惑通りに動かして、

虚の状態に陥らせ、こちら

は準備をして実力を蓄えて

待ち構えると解説する。

中国は春秋戦国の時代か

ら、いかに相手の態勢を崩

して隙を突くかという認知

が探求され、実践されてき

た。この伝統的思考に最先

端技術と西洋の認知戦研究が融合されたのが中国独自の認知戦であると言える。

中国における認知戦の定義の一つは、まず、多くの

最先端技術を活用し、多層

的な情報手段によって、影

響を与えるべき対象の視点、

する問題の認知に影響を与

え、支配と操作を行い、自

らにとって有利な認知態勢

世論闘争を戦い抜くため、

と一体化して運用しようとす

## 中国の認知戦と国際話語権

## 中国が世界に発信する「物語」にどう向き合うか

態度、観念、自己同一性、を形成するというものだ。中国は、伝播力が影響力を自信、信念、信仰、思想、また、中央人民政府は「西思惟などを争奪する。

その上で、個人または集団の政治・経済、社会、文化、国防軍事、教育、科学の施行者や伝播者、政府組織、非政府組織、言語また

側諸国が国際伝播の不合理な秩序を形成し、国際伝播もと、「新型大国関係」「人権運命共同体」「習近平強

国家利益の核心を成す「国際話語権」

葉はあまり聞き慣れない

政策▽イデオロギー▽軍事行動▽制度▽国家の地位▽

行動▽制度▽国家の地位▽

展に対する国際社会の誤つ語権」と国際伝播システムを構築しようとしている。

共内戦時の「毛沢東主席の

場、主張、視点から得られ

发展、安定に有利な对外世

論環境を創出しようという

このように、西側諸国か

雄弁な文章によって敵の5

ージを毀損し、中国が正当

統文化概念など、関連

うとしているとの公式見

を構築するため、国際話語

この複雑かつ厳しい国際

権と国際伝播能力を認知戦

にとって有利な認知態勢

世論闘争を戦い抜くため、

と一体化して運用しようとす

を構築するため、国際話語

において無形の剣を抜くこ

とも軍事力の重要な要素と

故事が示すとおり、世論戦

が構築するため、国際話語

において無形の剣を抜くこ

と考えている。

葉に重きを置いている。国象者の選定④話語が表明された国際社会での発言権を獲得すると共に、中国の改革、強軍思想は、国益と人民の保護のための国力に見合った軍事力の獲得や、国際平和活動などの貢献による

習近平体制下の中国は、1840年のアヘン戦争以来、今も西側諸国によって

凱音教授の定義によれば、

国家利益の核心を成すもの

であり、中でも社会発展事

業と国事行為に関して意見

を発表する権利を指す。

そして、それは、①話語の施行者や伝播者、政府組織、非政府組織、言語また

側諸国が国際伝播の不合理な秩序を形成し、国際伝播もと、「新型大国関係」「人

権運命共同体」「習近平強

国家利益の核心を成す「国際話語権」

中国は、「習近平重要講

話」に代表されるように、

語の効果を高めるための対

象者に重きを置いている。国象者の選定④話語が表明された国際社会での発言権を獲得すると共に、中国の改革、強軍思想は、国益と人民の保護のための国力に見合った軍事力の獲得や、国際平和活動などの貢献による

葉に重きを置いている。国象者の選定④話語が表明された国際社会での発言権を獲得すると共に、中国の改革、強軍思想は、国益と人民の保護のための国力に見合った軍事力の獲得や、国際平和活動などの貢献による

習近平体制下の中国は、1840年のアヘン戦争以来、今も西側諸国によって

凱音教授の定義によれば、

国家利益の核心を成すもの

であり、中でも社会発展事

業と国事行為に関して意見

を発表する権利を指す。

そして、それは、①話語の施行者や伝播者、政府組織、非政府組織、言語また

側諸国が国際伝播の不合理な秩序を形成し、国際伝播もと、「新型大国関係」「人

権運命共同体」「習近平強

国家利益の核心を成す「国際話語権」

中国は、「習近平重要講

話」に代表されるように、

語の効果を高めるための対

象者に重きを置いている。国象者の選定④話語が表明された国際社会での発言権を獲得すると共に、中国の改革、強軍思想は、国益と人民の保護のための国力に見合った軍事力の獲得や、国際平和活動などの貢献による

象者に重きを置いている。国象者の選定④話語が表明された国際社会での発言権を獲得すると共に、中国の改革、強軍思想は、国益と人民の保護のための国力に見合った軍事力の獲得や、国際平和活動などの貢献による

象者に重きを置いている。国象者の選定④話語が表明された国際社会での発言権を獲得すると共に、中国の改革、強軍思想は、国益と人民の保護のための国力に見合った軍事力の獲得や、国際平和活動などの貢献による

象者に重きを置いている。国象者の選定④話語が表明された国際社会での発言権を獲得すると共に、中国の改革、強軍思想は、国益と人民の保護のための国力に見合った軍事力の獲得や、国際平和活動などの貢献による

象者に重きを置いている。国象者の選定④話語が表明された国際社会での発言権を獲得すると共に、中国の改革、強軍思想は、国益と人民の保護のための国力に見合った軍事力の獲得や、国際平和活動などの貢献による